

WUSV 世界選手権 チームキャプテン&審査員ミーティング 2015.09.28

日本からの出席者： 益田晴夫 (SVJ) 望月利彦 (JSV) 飯田睦子 (JSV) 敬称略

「日本の問題に関するタウバー審査員長の経緯説明と処置」

ミーティング開始から 8 分 15 秒 タウバー審査員長 (WUSV 副会長) :

二番目の問題、日本について。ご存知かもしれませんが、日本では三協会が存在し、さまざまな問題がありました。しかし、数週間前、ニュルンベルクにおいて問題は全て解決され、三協会は協力するとの協定に調印しました。しかし、日本代表の選考に関しては、政治的判断が絡み、そのため、日本代表は選考会での結果ではなく、話し合いによって決められました。

そして、(ここフィンランドにおける) 世界選手権でのチームキャプテン・ミーティングにおいて、各国の出場犬最終確認の際に、日本チームキャプテンの一人が、4 番については「不健康であるので出場しない」と申告したが、もう一人のキャプテンは「不健康ではない」と言った。不健康とわかっている犬を出場させるべきではない。という話し合いが両キャプテンの間で行われたが、結局、結論に達することなく予定通り (当該犬は) 出場した。

その犬の最初の課目である防衛において、すべての人が、そして審査員も明らかに「犬は不健康である」ということを目撃しました。ジャンプのためのパワーが十分ではない、作業のためのパワーが十分ではない。

私には理解ができません！

と言うのは、今年から HD / ED の "a" スタンプが必要となります。不健康犬を世界選手権に出場させないためです。しかし、不健康犬が出場してしまった。このことは、犬、日本、WUSV のためによくありません。観客の中には、涙ぐむ人もいたし、終了後の拍手もなかった。防衛終了後、直ちに私は獣医師に連絡、獣医師の診断結果は「不健康」。私は犬の退場を決断し、そのことを告げた。今回の世界選手権において不健康犬が競技に出場したということは、犬のために良くないし、日本のイメージを傷つけた、WUSV ジャーマンシェパードのイメージを傷つけた。

このことを踏まえ、私は明確に日本の協会に通達する。来年の日本の選考会は、公平に行われ、日本の (世界選手権を目指す) すべての犬が出場できることが不可欠であり、フェアとコレクトが守られなかった場合、日本からの出場を拒否します。我々は (日本の) ベスト犬、そして健康な犬を要求します。

一同拍手